

## 競技者としての意識

『わたしたちは、勝負に勝つために誰よりも努力して研究してきた。神がいるならば、お前達こそ勝者にふさわしい人間であると指名してほしい。指名されるような人間にわたしたちはなりたい。神がいるならその目にとまる人間でありたい。』

このような心境になるまで、自分をみがき勝負にかけたとき『陸上競技』そのものを通して『心』がみがかれて行く。

この心の経験を何度もしていくうちに競技者としての態度や人への接し方が他と違ってくる。勝者にふさわしい人間でありたいというひたむきな姿勢がより人格を高め、他から風格として映る。

チーム

勝者とは、

自らが競技を行い研究できる人である。

自信になるものを多く持った人である。

自分自信をみがき、風格をもった人である。

努力・研究を続ける。

自分の活躍を待つ。

自分の成長を信じる。

結果が出たときは、高ぶらない。

続ける・待つ・信じる・高ぶらない

すべてがそろって勝者としてふさわしい。